

平成30年度シラバス

教科	科目	単位数	履修学年・クラス
国語	現代文A	2	3-1～3-6

1. 学習の到達目標

多様な文章を読む能力を高め、ものの見方、感じ方、考え方を深めると共に、人権を尊重する感覚を培う。言葉の働きを理解させ、言葉への興味と感受性を養う。現代文の読解を通して、自己の確立や人間性の形成に役立てる。

2. 学習の計画

	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
1 学 期	小説を読む（一） 調律師のるみ子さん デューク 人間と文化 花女房 言語と文化 数え方で磨く日本語	短編小説を読むことの基本を確認・確立させる。何かを喪失することとの向き合い方、そこから回復するために必要なことに気づかせる。 日本の昔話とグリム童話の対立的な比較検討によって、日本文化や日本人の感性を考察させる。 身近で親しみやすい内容を通じて、日本における言語文化の特色や、言語をめぐる思想のあり方を学ばせる。
2 学 期	人間と文化 コミュニケーションの文化 小説を読む（四） ひよこの眼 卒業 人生の風景 出島のチューリップ	国際化の中で日本のコミュニケーションが少数派であることに気づかせ、自分たちの文化に関心を持たせる。 登場人物の心理がどう描き出されているかを分析させる。生徒と同年代の登場人物に対して、どのような感情を持ったかを考えることで、他者への関わり方についての思索を深めさせる。 人生の中で心に残る「風景」の意味することを理解させる。
3 学 期	小説を読む（五） いろはに、こんぺいとう	登場人物の気持ちに想像をめぐらせながら、現代における社会問題への知識を深め、自分たちを取り巻く社会へと視野を広めさせる。

3. 評価方法・評価の観点

評価方法	定期テスト、提出物、授業態度等による。
------	---------------------

評価の観点	関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解
評価の内容	国語や言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図り、進んで表現したり理解したりしようとする。	自分の考えをまとめたり深めたりして、相手や目的に応じて筋道を立て、表現を工夫して話したり文章を書いたりする。	話し手や書き手の考えに即して内容を正確にとらえ、考えを深めたり発展させたりしながら話や文章を的確に理解する。	表現と理解に役立てるための音声、文法、表記、語句、語彙、漢字等を理解し、知識を身に付ける。

4. 使用教科書・副教材

使用教科書	高等学校 改訂版 新編現代文A（第一学習社）
副教材	